

CASBEE® 広島

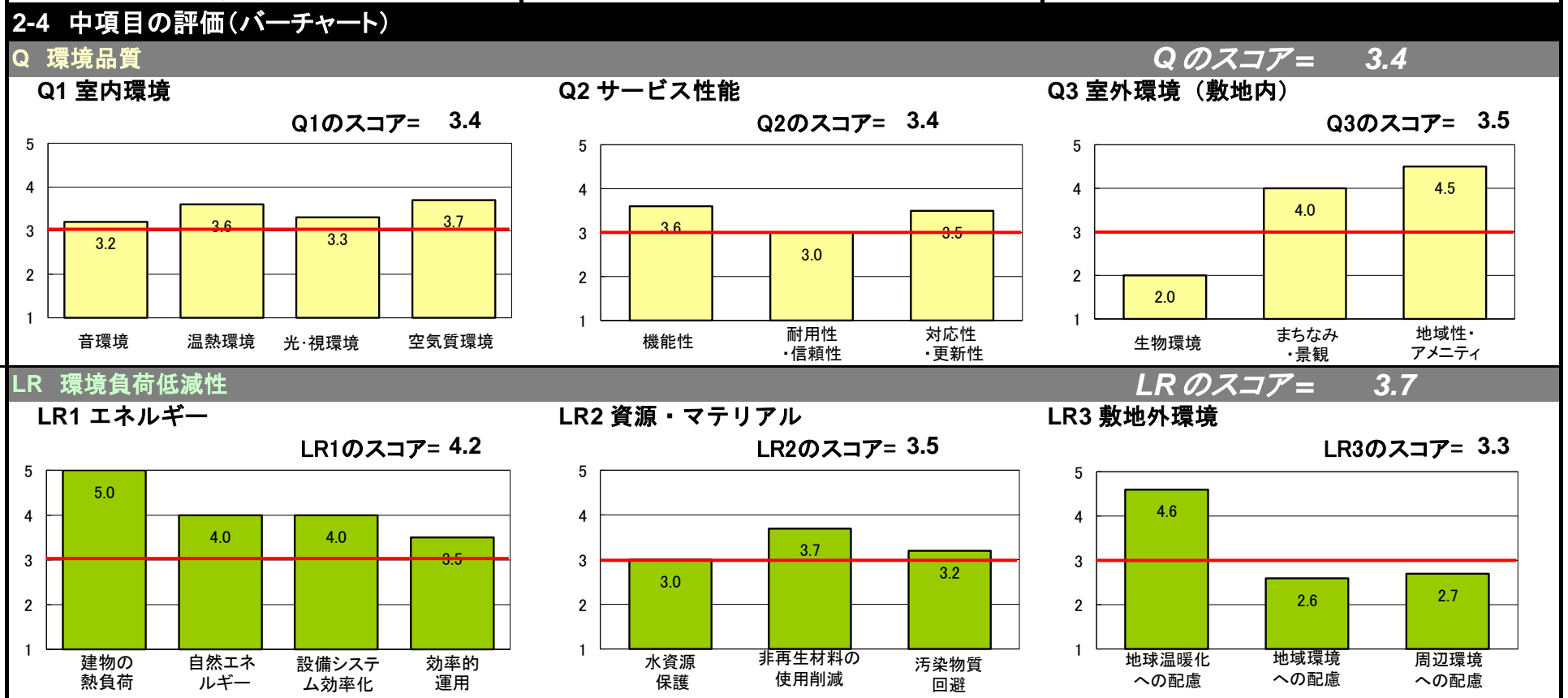
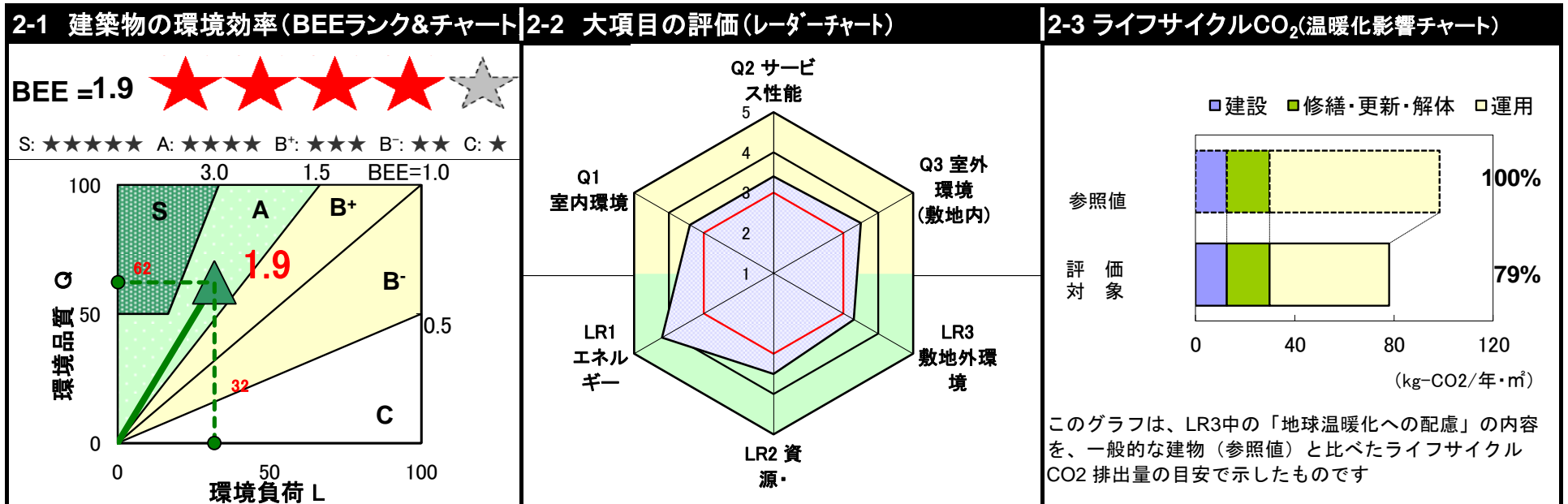
(2010年ver.1)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE広島 2009年版

■ベース評価ソフト: CASBEE-Ncb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	広島修道大学8号館	階数	地上4階・地下1階
建設地	広島市安佐南区	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居、近隣商業、準防	平均居住人員	1,100 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,280 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2014年3月3日
敷地面積	338,875 m ²	作成者	日建設計
建築面積	1,787 m ²	確認日	2014年3月7日
延床面積	5,779 m ²	確認者	広島修道大学

3 広島市の重点項目

重点項目の総平均スコア = 3.7

「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア = 4.0	スコア = 2.6	スコア = 3.2
設計の計画上特段に配慮した事項 大庇、窓面を外壁面より掘り込んだ位置に設置 / クールチューブ、重力換気システムの採用 / LED照明の採用、クールチューブの採用 / 重力換気システムの利用 ・打ち込みPC採用により型枠量の低減 ・クールチューブの採用 / 外気取入抑制の採用	設計の計画上特段に配慮した事項 屋上緑化の採用 / アストラムラインの利用、駐車場施設の充実、大学敷地内の長い引込道路の設置	設計の計画上特段に配慮した事項 打ち込みPC版の採用 / 将来改修が容易に行えるようケーブルラック、OAフロア方式として計画

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される